

本願寺西山別院報

久遠

-QUON-

第49号

〒615-8107
京都市西京区川島北裏町
29番地
Tel:075-392-7939
Fax:075-394-4416
e-mail:nishiyamabetsuin@
msa.biglobe.ne.jp

本願寺西山別院輪番
得度習礼所・教師教修所所長
西山幼稚園園長

中原 敬恵



一水四見

令和五年も半ばを過ぎ、梅雨の雨を吸い込んだ境内地では、雑草がグングンと成長しております。この時期、僧侶たちが外での修行をやめて、一ヶ所に集まって定住し勉強することを「安居（あんご）」といいます。

これは釈尊の時代から行われていたといわれ、雨期に草木が生え繁り、小さな虫たちが草木の間で活動をはじめると、あたりに人間が動き回って無闇に殺生してしまわないようにされたといわれます。それにならって本願寺においても、黄袈裟を着用した僧侶が一堂に会し安居が行われます。

当別院ではどうかというところ、草木や虫たちに心を寄せるどころか、雑草に戦いを挑み、ちよっ



ご縁を喜び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

850
立教開宗
00



と伸びては引き抜かれ、引き抜かれてはグンッと伸びるを繰り返しています。梅雨によってたくさん水分をすいこんで、夏になってたくさん太陽の光を浴びて、草木は心地よく成長して行くのですが、それを恨めしく思う私たち人間がいるのです。

人間にとっては、無くてはならない飲み物としての水
魚にとっては、自分たちの住処である水
天人にとっては、透き通った水晶やガラスのような歩くことが出来る水
餓鬼にとっては、口にしようと思ったら燃えてしまう苦しみのお水

同じ水であっても、無くてはならない素晴らしいものになったり、見るのも触るのも嫌になるも

のようになったり。立場が変われば、物の見方は変わるのだと教えてくれる言葉です。
梅雨の時期は「今週は天気が悪くて嫌です」と挨拶することが増えますが、「雨が好きな人も、雨が必要な人もいることを忘れてしまっています。子どもたちは、楽しそうに水たまりにジャンプしている横で、大人は服が汚れるのを心配している様子は、まさに「立場変われば」です。
日常生活においても、自分の思いだけを優先してしまいがちなのが、私たち人間です。ほんの少し違う視線で物事をみて、他の人の心に寄りそうこと、これが争いの無い世界への第一歩ではないでしょうか。

雑草に「大きくなったね」と心を寄せつつ、参拝しやすい白洲を目指して優しく引き抜く作業を続けたいと思います。

さて、当別院での「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」まで一年を切りました。具体的な内容も決まりつつあり、大勢の皆様が西山別院に集い、親鸞聖人を通して自分のいのちの生き方を考える時間をもって頂けたらと思います。法要だけでなく、いくつかのイベントも企画中です。随時、ご報告いたしますので、楽しみにお待ちください。

また、ご門徒の皆様、有縁の皆様には多大なるご懇念を頂戴しております。御礼申し上げます。この度は、当別院の開基である覚如上人が、親鸞聖人のご遺徳を描かれた『御絵伝』をお迎えしたいと考えております。引き続き、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



令和五年 覚祖会

四月二十二日(土)二十三日(日)の二日間
にわたり、西山別院開基覚如上人の御命日法要
「覚祖会」が、厳修されました。
ご法話は、「南無阿弥陀仏」がともにあること
の講題で、本願寺派布教使園淵和貴先生より
お話をいただきました。

四月二十二日
逮夜法要



四月二十二日
初夜法要



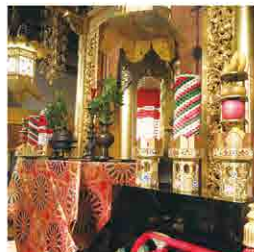
書院の生け花



四月二十三日
晨朝法要



四月二十三日
日中法要



覚如上人御影

【覚如上人】(かくによしようにん 二七〇〜一三五)
本願寺第三代宗主。西山別院開基。
親鸞聖人の會孫に当られ、親鸞聖人の伝記
である「伝絵」(御伝鈔)や、報恩講の由来
となった「報恩講私記」など多くのご著作
を残され、本願寺教団の礎を築かれました。
当別院境内地の北西には御廟所(お墓所)
があります。

覚如上人、最晩年に詠まれた和歌
南無阿弥陀 仏力ならぬ のりぞなき
たもつ心も われとおこさず

從覚上人「慕婦絵」所収

【現代語訳】

南無阿弥陀仏のみ教えに、阿弥陀仏のはたらきによらないものはありません。たとえ私の(信)心であっても、私が自ら起こしたものではありません。

覚祖会の
準備風景



法要をお迎えする前に「おみがき」をいたしました。



境内清掃



境内も美しく調いました。

覚祖会法話



講師 本願寺派布教使
大阪教区 西淀川組 西法寺
園淵和貴 師

「南無阿弥陀仏」が ともにあること

浄土真宗というご宗旨は、阿弥陀さまという仏さまのご宗旨です。
その阿弥陀さまは、今、私の身の内側に、ご一緒くださる仏さまです。
どういっておすがたで一緒くださるかということ、それが「南無阿弥陀仏」という、お名号、お名前のおすがたで一緒です。
このご法話をお読みくださる皆さま、お一人お一人の、足のつま先の先っちょから、頭のてっぺんまで、今、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏……と満ち満ちてくださって、それだけではありません。「南無阿弥陀仏」のおすがたそのまま、私の口からこぼれ出てきてくださいます。その、こぼれ出てくる阿弥陀さまが何かというと、「お念仏」

です。

日常会話では全く使えない「南無阿弥陀仏」という言葉が、なぜ私の口から出てくるのか。それは、阿弥陀さまが、「一緒だからです。」「お念仏したから、一緒くださる」という順番ではありません。「もうすでに一緒くださってあるから、お念仏が出てくる」という順番です。

そうです、阿弥陀さまという仏さまは、ボーッととした概念のような仏さまではなく、お念仏という具体的なおすがたで、私に一緒くださる仏さまです。このことを聞いたなら、いつでもどこでも一緒です。なぜなら、いつでもどこでも、お念仏しようと思えばできるからです。もはやこの人生は、私一人ではない、阿弥陀さまが一緒くださる人生です。

そして、この人生の最後には、大きな仕事が残っています。それは、いつか命を終えねばならないという仕事です。いつ、どのようにその時を迎えるのか選べませんが、いつか必ず経験しなければなりません。その大仕事について、阿弥陀さまがおっしゃいます。

「その人生最後の大仕事は、あなたのお仕事ではなく、私の仕事にさせてもらえませんか。あなた一人でその時を迎えさせはせんよ、絶対に私が一緒だよ。あなたを抱っこして、必ずお浄土という悟りの境界へ連れてゆくから、どうかそのことを、知ってね、聞いてね、安心してね。」

そうおっしゃる仏さまが、どこか遠くにおられるのではありません。今、私の命の深い、深いところに一緒くださって、内側からそのことを教えてくださるのを、自分の称える「南無阿弥陀仏」で聞かせていただく。それが、浄土真宗の先輩方が大切に

されたお念仏です。

今の内容をお読みになられて、お気づきになられたでしょうか。阿弥陀さまのお救いは、大きく分けて二段階になっているのです。

一つは、命終えて、お浄土へ寄せていただく。これが一つ。

しかし、それだけではありません。その前に、もう一段階ある。それは、私の口から、わざわざ「南無阿弥陀仏」でこぼれ出てくださるといふことです。

「命終わってお浄土です」、これだけだったら、わざわざ私の口からこぼれ出てくる必要なんてありません。ではなぜ、お浄土参りの前に、わざわざお念仏として私の口からこぼれ出てくるようなお救いを完成されたのか。

それは、阿弥陀さまはきつと、ご存知だったからです。「命終わってお浄土」、それはいいです。でも、まだ問題が残っている。それは、お浄土参りまでのその間、苦しみ多き、悲しみ多き、「娑婆(しゃば)」という言葉、私一人で、生きていかねばならないということ。このことを、阿弥陀さま、十分にご存知だったんでしょね。そしてそのことを、大きな問題とされた。そこでおっしゃいます。

「その人生、あなた一人で歩ませはせんよ。私と一緒にだよ。一人で歩む人生じゃない。いつでもどこでも、一緒だよ」って。

お念仏の先輩方は、そのことが有難かった、うれしかったのではないのでしょうか。この人生、もはや独りぼっちではありません。阿弥陀さまが一緒です。人生のどこを押さえても、仏さまが一緒の、尊い、尊い人生を、歩ませていただきます。

称名相続

さくらまつり

in西山別院 四月一日(土)

今年のさくらの開花が令和五年三月十七日に宣言され、平年に比べると七日ほど早いと言われておりましたが、西山別院では四月一日(土)、満開のさくらが咲き誇る境内にて「さくらまつりin西山別院」を開催いたしました。

華やかに彩るさくらの下、レジャーシートを広げて地元のお店によるコーヒーやお弁当、キッチンカーで販売していたキューバサンド、チキンロール、クレープなどを持ち寄ってご家族やお友達同士で楽しめました。

また、西山幼稚園を開放し、西山別院輪番・園長のバルーンアートでは、鮮やかな手さばきに子供たちは目を輝かせてくぎ付けになり、キラキラ笑顔でバルーンの剣や犬や花などを受け取っていました。

イベントは、雅楽演奏やコンサート、落語会に手作り市、書道教室の作品展示、桂高校の生徒さんによる野菜や草花の販売と盛り沢山で、六〇〇人を超える方々に来院いただき、大盛況の一日となりました。

また、午後からは永代経法要もお勤めし、阿弥陀さまのみ教えに遇っていただく有り難いご縁となりました。



さくら満開



白洲ピクニック開放



フリーマーケット開催



西山にキッチンカーがやってきた!



手作り市



クレープ
キューバサンド
チキンロール
etc.



美味しい珈琲



地元のお店も出店



料金別納票 6,158,107 0063

京都府京都市西京区川島北浜町29番地 本願寺西山別院 様

たすけあい募金領収書 No.20724

収金種別	指定	トルコ・シリア地震緊急支援募金
金額	20,000	円
令和5年3月31日 上記の通り領収しました		

〒600-8358 京都市下京区堀川通花屋町下 浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金 TEL.075-371-5181(代)

皆様からの募金は、浄土真宗本願寺派伝道本部社会部(災害対策担当)を通じて、現地ですべての活動を進行し、被災者支援に充てられます。ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。



「浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金」のご報告と御礼

二〇二三年二月六日(月) 現地時間午前四時十七分、トルコ南東部のシリアとの国境付近を震源とする地震とその余震により被災された方々に対する浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金「トルコ・シリア地震緊急支援募金」のご協力を春季彼岸会にてお願いいたしましたところ、お心こもる募金二万円が寄せられました。



草花と
野菜

京都府立桂高等学校の
生徒さんによる販売

人間国宝 桂米朝の伝統を引き継ぐ一門による落語



桂慶治朗さん



桂二乗さん

西山御坊落語会



龍笛 (りゅうてき)
鳳笙 (ほうしょう) (ひちりき)



雅楽の調べ



別院職員による雅楽演奏



ステキな演奏



楽しい時間



お坊さんの
小唄



笑顔咲くら
メッセージ



西山別院書道教室 展示会



月例永代経(お勤め)

お知らせ
木々が色づいて黄葉が最も美しい時期に
「いちようまつり」を開催予定!
七五三奉告法要などの行事のほか、
フリーマーケット、キッチンカー etc.
ぜひ遊びに来てください!
開催日: 二〇二三年(令和五年)十一月三日(金・祝)
雨天決行

開催場所: 本願寺西山別院境内地

七五三

子どもたちの
笑顔のために募金
のご報告と御礼

浄土真宗本願寺派(西本願寺)では、「自他共に心豊かに生きることでできる社会の実現に貢献する」という理念のもと、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を推進しています。

その取り組みとして「さくらまつり」並びに「覚祖会」にて『子どもたちの笑顔のために募金』のご協力をお願いいたしましたところ、お心こもる募金が寄せられました。皆様からの募金は、浄土真宗本願寺派重点プロジェクト推進室を通じて、関係団体へ送られ国内外の子どもたちへの支援活動に充当されます。ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

料金別納
郵便 51581007
00063

京都市西京区川島北原町229番地
本願寺西山別院 様

子どもたちの笑顔のために募金領収書
No. 3730

金額 6,233 円
令和5年 5月 9日
上記の通り領収しました

〒600-8501
京都市下京区東川邊町下町
浄土真宗本願寺派
嵐山プロジェクト推進室
TEL: 075-371-5181 (FAX)

ダーナ フォー ワールド ピース
Dana for World Peace

入園式

四月十一日(火)

西山別院本堂で西山幼稚園の入園式が行われました。子どもたちは紺色の制服に身を包み、ドキドキしながら本堂へ。担任の先生に名前を呼んでもらい、園長先生からは「真ん中にいらっしやるのが、ののさまですよ」と教えてもらいました。



園長先生のお話

本堂参拝

四月二十一日(金)

全園児そろっての本堂参拝でした。昨年までは新型コロナウイルスの影響により、全員での参拝が出来ませんでした。今年からはみんな揃ってののさまにお参りします。小さなお手々を合わせて、「なもあみだぶつ」と声を揃えます。いつでもどこでもののさまと一緒に。仏の子どもとして元気よく過ごしてくださいね。



なもあみだぶつ

西山幼稚園 令和5年

花まつり

五月八日(月)

西山幼稚園の花まつり。お家からお花を持ってきてお供えした後は、お釈迦様が生まれた時のお話を聞いて、最後にお釈迦様に甘茶をかけてお祝いしました。



花御堂



降誕会

五月十九日(金)

年長組のお友だちと保護者の皆様で本願寺へ行き、親鸞聖人のお誕生日「降誕会園児のつどい」に参加しました。園児代表で西山幼稚園のお友だちが献華をして、お参りが始まります。その後は、龍谷大学の吹奏楽部の演奏を聞いて、色んな楽器の音色を楽しみました。お釈迦さまや親鸞さまのお誕生日のお祝いを通して、みんなの命の大切さやののさまの優しさに気付く五月を過ごしました。



献花



プラとプトリ



西本願寺御影堂



合掌



楽しいコンサート



リズムに合わせて♪

五月十八日(木)

京都仏教幼稚園協会の園児たちがROOMシアター京都に集まっています。花まつりのお祝いです。西山幼稚園からは年中組のお友だちと保護者の皆様で参加しました。お参りの後は、ルカボンさんが色んな歌を歌いながら、一緒に体を動かして楽しい時間を過ごしました。





親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年慶讃法要 参拝記念



「親鸞聖人御誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年
慶讃法要」
団体参拝
五十年に一度の御勝縁に遇わせて頂きました

令和五年五月八日(月) 於:御本山本願寺

浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の御誕生と、浄土真宗が開かれた記念の法要に参拝させて頂きました。前門さまのお焼香、御門主さまのご親教、参拝者一同で唱和した新しい領解文、恩徳讃など、新型コロナウイルス感染症で制限の続いた後の参拝だけに皆さま感慨深い様子でした。法要後は書院と飛雲閣も拝観させて頂きました。

仏教婦人会

令和五年五月十六日(火)

京都国立博物館で開催の親鸞聖人生誕八五〇年特別展「親鸞生涯と名宝」を観覧いたしました。親鸞聖人ご自筆の名号、ご著作、お手紙をはじめ、浄土真宗各派が所蔵する彫像、影像、絵巻などの法宝物が一堂に集められ、参加者一同、聖人の求道と伝道のご生涯を偲ばせて頂きました。



西京ひろば

西京区民が集い、交流が生まれる「西京ひろば」を西山別院で開催予定!!

地域団体のブースエリア、フリーマーケットエリア、キッチンカーエリア、パトカーなどはたらくるまエリア等、楽しい企画がいっぱい。

西京ひろば



子ども大人も「ひろば」へGO!!

開催日時 2023(令和5)年9月30日(土) 11:00~15:00
開催場所 本願寺西山別院 境内地 ※雨天中止
主催 西京区民ふれあい事業実行委員会 **入場無料**



本願寺西山別院

「親鸞聖人御誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年 慶讃法要」

懇志進納のお願いについて



慈光照護のもと、有縁の皆様におかれましては
ご法義ご相続のこと、大慶に存じあげます。
平素より、本願寺西山別院の護持発展のために
多大なるご尽力を頂いておりますこと誠に有り難
く、厚く御礼申しあげます。

さて、本年は親鸞聖人御誕生八五〇年、明年に
は立教開宗八〇〇年をお迎えするにあたり、本山
本願寺(西本願寺)におきましては、三月二十九
日より慶讃法要がご修行になっております。

当別院におきましても、二〇二四(令和六)年
六月二十二日(土)、二十三日(日)の二日間にお
たり、慶讃法要をご修行する運びとなりました。

およそ八〇年前、親鸞聖人は自己の在り方を
深く省みて、私たち人間とは自己中心的な思いや、
煩惱からいかにしても抜け出ることのできない存
在であると気づかれました。しかし、そういう煩
悩に突き動かされる私たちに、誰ひとり取り残す
ことなく尊い安心を与えようとはたらき続けてい
る阿弥陀仏の願いに出遇われ、身をもって私たち
の生き方をお示しくださりました。その親鸞聖人
が説き示してくださった浄土真宗に出遇えたこと
を喜び、親鸞聖人の御誕生を共に祝いさせてい
ただきたく存じます。

この度のご法要は、ご門徒の皆様をはじめ、今
までご縁をつないでくださった方も、初めてご縁
をつないでくださる方も、子どもから大人まであ

らゆる世代が別院に集い、阿弥陀さまのお慈悲に
触れ、親鸞聖人が説き示してくださった自分自身
の姿を見つめ、自分につながるご縁を感じていた
だく機会とさせていただきたいと考えておりま
す。是非、お誘いあわせのうえ、ご参拝ください。
また、この度のご法要に合わせ四幅一流(四巻)
の『御絵伝』をお迎えしたいと考えております。

これは、当別院の開基であり、親鸞聖人の曾孫に
あたられます覚如上人が、親鸞聖人三十三回忌に
あたり、聖人のご生涯を後世に伝えるために詞と
絵で表して作成された絵巻物から、絵だけをまと
められた、浄土真宗の寺院にとりましてはとても
大切に、必要なものであります。しかし、当別院
には保有されておらず、悲愴な思いでございました。
世界では様々な争いが絶えず、日本においても
厳しい社会情勢が続く中ではありますが、ご法義
繁盛と当別院慶讃法要の円成に向けての計画は、
約八百万円を試算しております。つきましては皆
様には懇ろなるお力添えをいただきたく、ここに
お願い申しあげる次第であります。

二〇二三(令和五)年五月十一日

本願寺西山別院輪番 中原敬恵

ご門徒の皆様
有縁の皆様

「親鸞聖人御誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年 慶讃法要」 懇志進納のご依頼(お願い)

期日 二〇二四(令和六)年
六月二十二日(土)・二十三日(日)
日程 二十二日 午前:稚児行列
午後:速夜法要・法話
二十三日 午後:初夜法要・慶讃行事①
午前:日中法要・法話
午後:慶讃行事②

ご依頼額 一〇一万円

回数	懇志額	記念品
一〇以上	二万円以上	別院オリジナルタオル
三〇以上	三万円以上	別院オリジナル風呂敷
五〇以上	五万円以上	別院オリジナル式章
十〇以上	十万円以上	別院オリジナル式章、ふくさ
二十五〇以上	二十五万円以上	院号、別院オリジナル式章、ふくさ

※ご懇志進納につきましては、一〇以上をご進納いただければ幸甚に存じます。
※記念品は、令和六年春ごろのお渡しを予定しております。

ご進納期間 二〇二三(令和五)年九月末まで
ご進納は、お振込でもお受けいたします。
お振込先: ゆうちょ銀行
口座番号: 010402111358
加入者名: 浄土真宗本願寺派西山別院
※専用振込用紙もご用意いたしております。
当院までお問合せください。

お問い合わせ 本願寺西山別院
〒六二五-1810
住 所 京都府京都市西京区
川島北裏町二九番地
連絡先 〇七五-1392-7939

盂蘭盆会のご案内



亡くなられた先人たちのご恩に対し、あらためて思いを寄せるのがお盆です。

仏さまの国に往生された懐かしい人たち。阿弥陀如来さまの願力によってすみやかに悟りをひらかれます。そして、大いなる慈悲の心をおこし、迷いのこの世に還り来たりて、私共を真実の道へと導こうと常にはたらかれます。

本願寺西山別院では、八月十四日(月)に本堂において、盂蘭盆会を厳修いたします。また、同日の十四日より共同墓碑『和合海』の盂蘭盆会を厳修いたします。お盆をご縁として、仏さまの教えを聴聞させて頂きましよう。

西山別院の盂蘭盆会について

日時 2023(令和5)年8月14日(月)
一部: 9時30分~10時 一般参拝の方
二部: 10時30分~11時 初盆の方
三部: 11時30分~12時 初盆の方
場所 本願寺西山別院 本堂

共同墓碑『和合海』の盂蘭盆会について



日時 2023(令和5)年8月14日(月)
14時~14時30分
場所 本願寺西山別院
共同墓碑『和合海』前にて

秋季彼岸会のご案内



彼岸とは、「さとりの世界」の意味で、仏となられた懐かしい方々がおられる阿弥陀如来の西方浄土のことです。彼岸会は、迷いのこの岸をはなれて、さとり彼岸にいたることのできる仏さまの教えを聴聞させて頂く法要です。

阿弥陀如来に抱かれて、先に浄土へお生まれになられた方々に導かれて、彼岸へと続けたら一つ一つの念仏の道のお話を共々に聴かせて頂きましょう。
本願寺西山別院では、九月二十三日(土)に本堂において、秋季彼岸会を厳修いたします。

日時 2023(令和5)年9月23日(土・祝)
午前10時~
場所 本願寺西山別院 本堂
講師 本願寺派布教使 安堂 芳雅 師
(京都教区 城南組 西光寺)

入所・退職のご挨拶



入所 四月一日より西山別院で奉職させて頂いております。私は二〇一七(平成二十九)年より同じ敷地内にある得度習礼・教師教修所にて指導員をさせて頂いておりましたが、兼務という形で今年より西山別院でもお世話になります。新たな環境で勤務させて頂くことを嬉しく思っております。今後、お参り等でご門徒の皆様とお会いする機会が多くなることと思っております。皆様のご指導の程、よろしくお願い致します。



入所 四月より西山別院で奉職させて頂くようになりました。梅谷 提心と申します。大分県から参りました。学生時代を過ごした京都の地に四年ぶりに戻ってこられたこと、沢山の縁があって西山別院で勤務させて頂くことを嬉しく思い日々努めております。法務等でご門徒の皆様にお会いする日を楽しみにしております。また、迷惑をおかけすることや至らぬ点があるとは思いますが、温かいご指導の程よろしくお願い致します。



退職 さよなら西山別院 一身上の都合により、三月三十一日をもって退職いたしました。在職中は西山別院の皆さまから大きなご恩をいただいたと感じております。皆さまがかけてくださったお言葉や、示してくださったお姿は今日の私へとつながっております。また共に今後も称名相統の生活を送って参ります。称名



退職 さよなら西山別院 一身上の都合により、三月三十一日をもって退職いたしました。在職中は西山別院の皆さまから大きなご恩をいただいたと感じております。皆さまがかけてくださったお言葉や、示してくださったお姿は今日の私へとつながっております。また共に今後も称名相統の生活を送って参ります。称名

✈ インド紀行 佛足に額づいて⑧

西山別院仏教婦人会会員
柳瀬千代子



一九八八(仏歴二五三二)年一月二十日〜二月三日
仏教の開祖である釈尊が、お生まれになり、悟りを開かれ、法を説かれ、入滅された地インド。日本人が古より「天竺」と仰いできたインド。かつては遠い遙かな国「天竺」も今では日本から飛行機で八時間ほど。釈尊の足跡を慕い巡拝された柳瀬千代子さんの紀行文です。

一月二十四日

釈尊初転法輪の聖地
サルナート参拝

かつて五人の修行者が共に行をしておられましたが去っていかれますが、正覚をとられた佛様が先づその者達にこの教えを聞いてもらおうとこの地にこられます。

その五人の修行者が建てたという「迎佛の塔」があります。登ることは出来ませんでした。やはり時間がゆっくりほしいですね。

その廣々とした公園の入口には紀元前三世紀アショカ王によって建てられた「卍の塔」があります。釈尊がこの大地ではじめて説法された



サルナート「初転法輪像」



卍の塔(ダメーク大塔)



サルナート迎佛の塔

という佛教徒にとって最も大切なところ。大きな寺院は、ほとんどこわされていますが礎石は、しっかりと残っております。そして大塔はそびえ立っております。

チベットの人、西洋の人が多くこの地を訪れております。小さな子供達をつれたチベットの二家族の晝食時にちよつと立ち寄って親しく手を使ってお話をする。

手で交ぜて米つぶの中に野菜等を交ぜたものを仲良く食べています。大勢の子供達も、ちゃんと二家族であることがわかる。

食事をしないかとさし出される。嬉しいけれど食べられないことを理由におことわりをする。それにあれ程少ない食事を、私が頂くわけにはまいりません。有りがとう。



インドの花々



チベットの二家族



サリーと額にはピンディー

「卍の塔」の中で、ティサラナを歌い拝みます。
Ti-Sarana
Buddham saranam gacchāmi.
私は佛に帰依いたします。
Dhamman saranam gacchāmi.
私は法(真理)に帰依いたします。
Sangham saranam gacchāmi.
私は僧(仏法に基づく共同体)に帰依いたします。



日本の画家によって釈迦御一代の壁画があります。大塔をはるかに見る草の上に腰をおろして、讃仏偈をとなえます。この地があればこそ。一緒に旅をする僧侶の先生は大地にねて、その土のぬくもりを背にいつぱいうけておられます。大樹がそこそこあって木かげも頂きます。

午後 サリー工場にて
ブダガヤで、星月菩提のお数珠と白檀のネックレス等を買っており、二度目の買い物をする。知人に頼まれていたサリー二枚、記念に娘達にも息子達にも。

見るもの、見るもの、めずらしく、欲しくなれば、自分の欲深さに深く反省。こころ閉ざして悲しみいっぱい。これよりはクシナガラに向かい



仏陀ゆかりの地

「松に藤図四面」を次の世代へ

重要文化財「本堂障壁画八面」修理事業について、二〇二二(令和五年)五月、京都国立博物館の敷地内に併設されている文化財保存修理所を視察いたしましたので、ご報告させていただきます。二〇二二(令和四年)四月から「松に藤図四面」の修理が始まり、先に襖絵の現状調査と過去の修理記録についての調査が行われ、今回の視察では、カビを除去した箇所や旧裏打紙の除去工程を確認させていただきました。襖の四面中、一面は除去作業が完了し、二面以降の裏打紙処置の作業が行われていましたが、昭和時代の修理で除去出来なかった肌裏紙を取り除く工程は、損傷劣化が著しく決して容易な作業ではないとの説明を受けました。

修理工房にて実際の修復作業を見学し、傷ついた文化財を蘇らせる技術の最前線にふれることで、文化財をまもり伝えることの大切さを再確認させていただきました。

今後も紙面をもって修理の進捗状況をお知らせいたします。



袴田技師長より修理の説明を受ける

◆一六一八(元和四)年頃 徳力善宗作
江戸初期の本願寺お抱え絵師、徳力善宗の現存する唯一の作品。
画面いっぱい描かれた巨大な老松に絡みつく藤。咲き乱れる満開の桜に鮮やかな紅が印象的な牡丹。桃山文化の気風を受け継いだ絢爛な金障壁画。(非公開)



桜に牡丹図



松に藤図

重要文化財指定【絵第1823号】昭和56年6月9日指定
本堂障壁画 八面 寸法:各縦210.8cm 横101.3cm
紙本金地著色松に藤図 襖貼付四
紙本金地著色桜に牡丹図 襖貼付四

団体参拝

ようこそ西山別院へ
お参りくださり有り難うございます



二〇二三年 四月十二日
東京教区神奈川組長念寺さま



二〇二三年 四月十五日
真宗大谷派
東北教区青森県第二組さま
二〇二三年 四月十六日
長崎教区仏教壮年会さま



二〇二三年 五月七日
テンプル食堂さま



二〇二三年 五月十六日
石川教区島崎山組さま
二〇二三年 六月二十日
川岡学区地域女性会さま



総代の澤野様のご紹介で遠くドイツからご参拝に来てくださいました。浄土真宗のみ教えや本堂建築の美しさをゆっくりと堪能いただきました。

こな写真あんな写真

今度も別院職員からの別院あれこれ投稿です



観察

フム... 何してんの？ 水輪 ちゃらん

毎日観察の記録をつけてるんだ

ひまわり育てながら いろんな角度から...

「観察」は 仏教では「かんざつ」と読んで 智慧によって対象を正しく見きわめることなんだって

仏さまは私たちがよくみてくださって いるから 仏さまのまなざしにあんしんして 毎日をおくる ことが出来るんだ

MARU



満開の桜の下、ピカピカの笑顔に会えました。



入学・入園・進級 みんなおめでとう



すくすく元気に育ってね。応援しています。



あなたのお便りや写真をお寄せください。

- あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をどうぞお寄せください。
- 皆さまからお送り頂いた写真を掲載いたします。ご家族、風景、植物、可愛いペットなど

送り先
〒615-8107
京都市西京区川島北裏町 29 番地
本願寺西山別院「久遠お便り」係
e-mail : nishiyamabetsuin@msa.biglobe.ne.jp

投稿には、お名前(ニックネーム可)、ご住所、お電話番号をお忘れなく。作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却はいたしかねますので、あしからずご了承ください。

